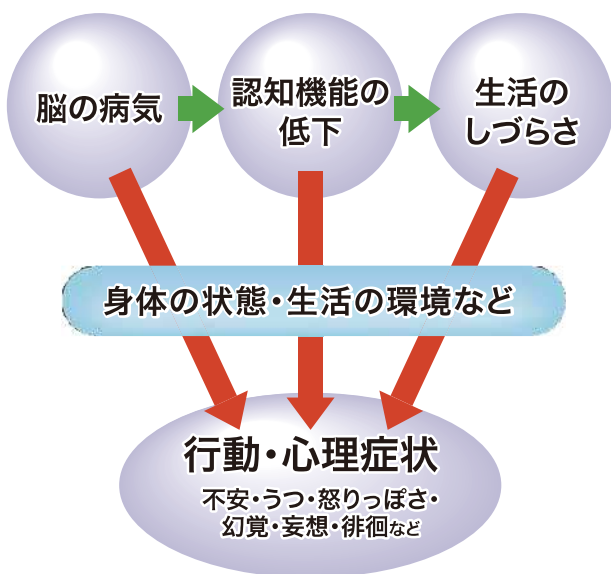




認知症は誰でもなる可能性のある身近な病気です

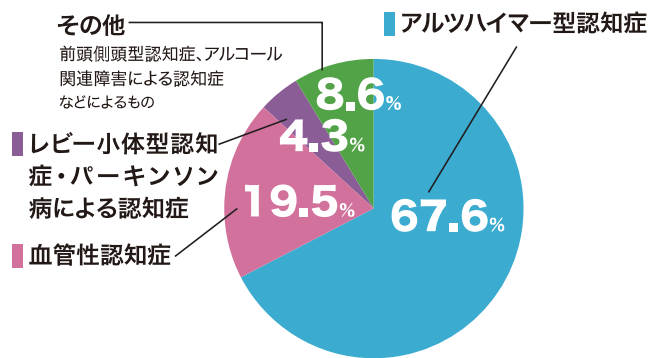
認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能(注1)が低下し、さまざまな生活のしづらさが現れる状態を指します。

認知症の状態



認知症の原因となる疾患の内訳

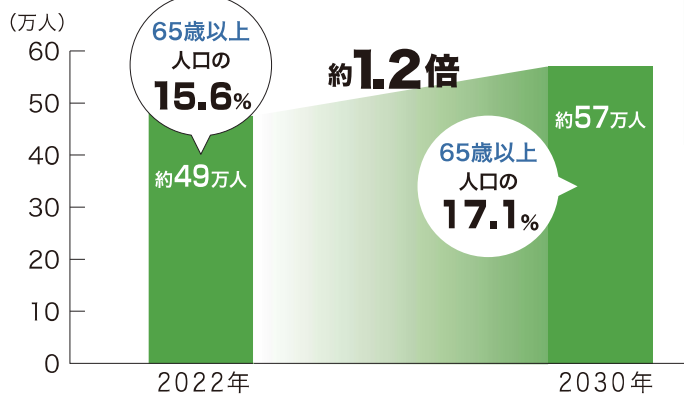
認知症の原因となる疾患の内訳には、主に「アルツハイマー型認知症」、「血管性認知症」、「レビー小体型認知症・パーキンソン病による認知症」の3つがあり、もっとも多いのがアルツハイマー型認知症です。



厚生労働科学研究「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(平成23年度～平成24年度 総合研究報告書 研究代表者 朝田 隆)を加工して作成

誰もが認知症とともに生きる可能性があります。

何らかの認知症の症状がある東京都の高齢者(注2)の将来推計



資料)東京都「令和4年度・認知症高齢者数等の分布調査」(令和5年3月)

65歳以上高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備軍と言われています。認知症の人と家族が安心して暮らせる地域をつくるのが大切です。



若年性認知症について 認知症は高齢者だけがなる病気ではありません。65歳未満で発症する若年性認知症の人は、都内には約4,000人と推計されています。

(注1) 認知機能とは…物事を記憶する、言葉を使う、計算する、問題を解決するために深く考えるなどの頭の働きを指します。

(注2) 要支援、要介護認定を受けている高齢者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度I以上の者
出典:東京都発行パンフレット「知って安心 認知症」(令和3年11月) ※一部改訂